



2021年10月29日

各 位

上場会社名 株式会社サンリツ
 代表者 代表取締役社長 三浦 康英
 (コード番号 9366 東証第一部)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員 尾留川 一仁
 (TEL 03-3471-0011)

**第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異、
 通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2021年5月13日に公表いたしました2022年3月期第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、茲許の事業環境も踏まえ、同じく2021年5月13日に公表いたしました2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期連結業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 第2四半期連結業績予想と実績の差異について

(1) 2022年3月期第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,000	百万円 400	百万円 380	百万円 240	円 銭 42.93
今回発表実績(B)	8,737	624	672	480	85.86
増減額(B-A)	737	224	292	240	
増減率(%)	9.2	56.2	77.1	100.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	7,062	205	169	170	30.53

2. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)通期連結業績予想の修正について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 16,200	百万円 1,000	百万円 950	百万円 600	円 銭 107.32
今回修正予想(B)	17,000	1,100	1,100	700	124.95
増減額(B-A)	800	100	150	100	
増減率(%)	4.9	10.0	15.8	16.7	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	15,210	599	519	367	65.79

(注) 今回修正予想の1株当たり当期純利益は、2022年3月期第2四半期連結累計期間における期中平均株式数に基づいて算出しております。

3. 第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正の理由

米中対立や海上輸送の混乱などの下押し要因はあったものの、前年大幅に取扱いが減少していた工作機械が復調したことに加え、半導体製造装置及び小型精密機器の取扱いも増加したこと及び売上高が増加するなかで、販売費及び一般管理費を当初計画内に収めた結果、各利益においても当初予想を上回る見込みとなりました。

また、当第2四半期連結累計期間までの実績を勘案し、下期も工作機械、半導体製造装置及び小型精密機器の取扱いが同程度は見込まれることから、2022年3月期の通期連結業績予想を修正いたします。

※当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることをご留意ください。

3. 配当予想の修正について

(1) 2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2021年5月13日公表)	—	32円00銭	32円00銭
今 回 修 正 予 想	—	37円00銭	37円00銭
当 期 実 績	0円00銭	—	—
前 期 実 績 (2021年3月期)	0円00銭	20円00銭	20円00銭

(2) 配当予想修正の理由

当社は、収益に応じた株主への利益還元を経営上の最重要課題の一つとして認識し、財務体質の強化と今後の国内外における事業展開等を総合的に勘案しつつ、積極的に配当を実施することを基本方針としております。具体的には、配当性向を30%程度とすることを基本として、検討しております。

本方針に基づき、2022年3月期の期末配当につきましては、通期連結業績予想の修正を踏まえ、前回予想の1株当たり32円から5円増額し、1株当たり37円に修正いたします。

以 上